つなごう！新潟の未来！
Re:Think インフラプロジェクト

新潟を「住み続けられるまち」にするために暮らしを支えるインフラを知る「Re:ThinkインフラプロジェクトJ」。第2回目は、離れたところで私たちの生活を支えているダムに注目。南魚沼市の三国川（さくりがわ）ダムを訪ねてダムって、何のためにあるの？暮らしとどうつながっているの？を、一緒に探っていきましょう。

洪水から守り日常に欠かせない水を送る山の中のダム

朝には顔を洗い、外から帰れば手を洗う。ご飯を作る時にも、お風呂でもトイレでも、私たちは1日に何度も、蛇口をひねっています。いつも、あたりまえのように出てくる水、それがどこから来ているのか、水の「おおもと」であるダムの一つ、三国川ダムを訪ねました。

三国川ダムは、越後山脈からコシヒカリで有名な魚沼盆地へと流れる三国川の上流にあります。三国川の上流は、高低差の激しい谷を縫うように流れることから、下流部ではたびたび洪水の被害を受けたり、逆に水が少なくなって米作りに打撃を与えたりしたこともあったそう。三国川ダムができたおかげで、大雨が降っても安心して暮らせるようになり、同時に暮らしに欠かせない水や電気を安定して得られるようになりました。最近では、２０１９（令和元）年、信濃川につながる千曲川が決壊した災害時には、ダムが水を溜めて、下流域を水害から守る役割も果たしました。

近くで採れた岩石を使用。積み上げた形は自然に溶け込んで

ダムといえば、「重力式」をはじめとするコンクリートダムがもっとも多く、新潟県でも、64基あるうち44基がコンクリート造です。三国川ダムは、岩（ロック）を積み上げた「ロックフィル」という珍しい形式で、これは材料となる堅い岩が近くで取れたことが理由の一つ。ダムの中心部は、水を止める粘土の層になっていて、両側を砂利と岩石で固めて粘土が流れ出すのを防いでいます。

ダム内部には、点検や補修のための通路「監査廊」がめぐり、冬以外は見学も可能。一年中、同じ温度に保たれていることから、地元のお酒の貯蔵にも使われているそうです。地下のトンネルから地上に出ると、景色は一転、山と水と岩のダイナミックな風景が広がります。

ゆるやかな岩の傾斜は、そのまま山々につながり、木々と一体になって、美しくも迫力満点。自然の材料を使い、自然に溶け込む三国川ダムは、花や緑で季節感を届けながら、今日も、魚沼地域の暮らしを支えています。

重力式コンクリートダム（貯内川ダム）

重力式コンクリートダム（笠堀ダム）

MISSION 3
暮らしを支える「水」を守る

三国川ダム
南魚沼市
1994（平成6）年～

水と緑の「しゃくなげ湖」周辺には自然を満喫するスポットいろいろ

周辺にシャクナゲが多かったことから、三国川ダムは別名「しゃくなげ湖」と呼ばれています。「地域に開かれたダム」を目指し、例えば監査廊を見学できるようにしたり、「しゃくなげ湖まつり」を開催したり。湖畔にはオートキャンプ場や、ドッグランとしても利用できる運動公園が整備され、アウトドアを楽しむこともできます。食事や休憩のできる「しゃくなげ観光センター」ではオリジナルの「ダムカレー」が人気。サイレンと「ダムからカレーを流しました」という放送が流れると、ロックフィルの形をしたご飯が、なみなみと注がれたカレーとともに提供されます。さらに最近では、湖畔の周回道路を活用した自転車のロードレース・イベントも行われています。

■国土交通省北陸地方整備局　三国川ダム管理所
南魚沼市清水瀬686-59
電話番号／025-774-3015
※冬季は通行止め

■しゃくなげ湖畔開発公社
南魚沼市舞台745-48（キャンプや運動公園の予約も）
電話番号／025-774-2200
※冬季閉業

ぼくの体験記はWebで見てねー！

ナビゲーター
いっすねー！山協
「よしもと新潟県住みます芸人」として2017年に新潟に移住。TV番組のレポーターを中心に活動。福岡県出身。前回に続き、長男の春くんと一緒に、三国川ダムを訪れた

私たちは「Re:Think インフラプロジェクト つなごう！新潟の未来！」を応援します

株式会社植木組　株式会社加賀田組　NEXCO東日本　株式会社廣瀬　株式会社福田組　福田道路株式会社　株式会社本間組

株式会社曙建設　エヌシーイー株式会社　大原技術株式会社　株式会社小林組　西田建設株式会社　株式会社原組　藤木鉄工株式会社　一般社団法人北陸地域づくり協会　株式会社皆川組　〈50音順〉